

---

# 中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

---

2009年5月25日号

©2009年4月における中国の油糧・食油市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2009年4月における油糧・食油市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

## 1 国内油糧価格は作物により上下、食用植物油価格は上昇

2009年4月の湖北地区の菜種の工場入荷価格は1トン当たり3,400元、前月比2.9%安・前年同月比28.6%安となった。同地区の四級菜種油の工場出荷価格は同7,588元、前月比1.5%高・前年同月比42.3%安となった。山東地区の二級落花生仁（種子の中の食べられる部分。殻むき落花生）卸売価格は同4,612元で、前月比9.8%高・前年同月比47.7%安となった。同地区における四級落花生油の平均価格は8,976元で、前月並み・前年同月比52.8%安となった。天津港におけるパーム油（融点24℃）のオファー価格は6,226元、前月比20.9%高・前年同月比37.8%安となった。

## 2 国際油糧及び食用植物油価格は軒並み上昇

2009年4月のカナダ菜種のCNF価格（C&F価格、1990年の国際商業用語改正後はCFR価格：運賃込み価格＝FOB（本船渡し）価格＋運賃。以下同じ）は1トン当たり425ドル、前月比5.6%高・前年同月比40.7%安となった。米国大豆油の離岸価格（本船渡し（FOB）価格）は769ドルで、前月比15.9%高・前年同月比42.3%安となった。マレーシアのパーム油（融点24℃）のFOB価格は752ドルで、前月比19.2%高・前年同月比41.3%安となった。

3 輸入菜種の価格は5か月連続で国内市場価格を下回った状態から上昇、輸入大豆油の価格は依然として国内市場価格を下回る

2009年4月は、国際菜種価格が上昇した一方、同国内価格が下落したため、5か月連続で国内市場価格を下回っていた状況が終息し、輸入菜種価格が国内価格を上回ることとなった。

2009年4月のカナダ産菜種の通関渡し価格（Duty Paid：C I F＋関税等）は1トン当たり3,689元前後で、国内菜種の工場入荷価格に比べ289元高くなった。米国メキシコ湾における大豆油のFOB価格は1トン当たり769ドルで、これを5,254元と換算すると、国内消費地区の国産大豆油価格に比べ1,511元低かった。また、山東省における輸入大豆油の通関渡し価格は6,588元で、当地の国産大豆油価格に比べ176元低かった。

4 2009年1月～3月の油糧輸入は大幅に増加、食用植物油輸入は減少

海関統計によると、2009年3月の中国の大豆輸入量は386万トン、前年同期比66.5%増となった。菜種輸入量は28.03万トンで、前年同期比30%増となった。2009年1月～3月の大豆輸入量は1,015万トンで、前年同期比30%増となった。また、同期間の菜種輸入量は62.58万トンで、前年同期比99.03%増となり、油糧輸入量の前年同期比は過去最高となった。2009年1月～3月の食用植物油の輸入量は、前年同期比12.54%減の176.11万トンとなった。